



緊急情報伝達システム
おつたえ君 **ARS-800F**

RS-232C インターフェース仕様書

2004年04月05日	初版
2004年08月30日	第2版
2004年11月30日	第3版
2004年12月27日	第4版
2005年06月09日	第5版
2005年12月21日	第6版
2006年05月09日	第7版

目次

1. インターフェースと注意点	3
2. コマンドの種類	5
2-1. ホスト → 指令装置	5
2-1-1. メッセージ録音・再生制御	5
2-1-2. 通知制御	5
2-1-3. 登録、データ転送制御	5
2-2. 指令装置 → ホスト	5
3. 各コマンド電文フォーマット	6
3-1. メッセージ録音	6
3-2. メッセージ再生	7
3-3. 指令装置状態要求	9
3-4. マニュアル通知	10
3-5. ワンタッチ通知	14
3-6. ダイレクト通知	18
3-7. テレガイドリモート録音開始	22
3-8. ID種別設定	24
3-9. YES/NO 判定（回答入力）設定	25
3-10. 話中／留守／不明の再通知設定	26
3-11. 通知方式設定	27
3-12. 人数制限選択設定	28
3-13. 着信時の YES/NO 判定（回答入力）設定	29
3-14. 着信時のメッセージ設定	30
3-15. トーキ判定	33
3-16. 時刻補正	33
3-17. 通知結果転送要求 - 1	34
3-18. 通知結果転送要求 - 2	37
4. データのダウンロード	40
4-1. プロトコル	40
4-2. データ・フォーマット	41
4-2-1. 基本フォーマット	41
4-2-2. 詳細フォーマット	41
①転送要求（ホストより）	41
②転送要求応答（指令装置より）	44
③データ（ホストより）	45
④受信応答（指令装置より）	56
⑤転送完了通知（ホストより）	56
⑥転送完了応答（指令装置より）	56
⑦全転送完了通知（ホストより）	56
⑧全転送完了応答（指令装置より）	56
■応答結果一覧	57

1. インターフェースと注意点

<インターフェイス>

通信回線	RS-232Cによるポイント・ツ・ポイント
通信方式	調歩同期式, 半二重
通信速度	2400bps、4800bps、9600bps、19200bps、38400bps、57600bps [本体初期登録]-[シリアル通信登録]画面にて選択 (出荷時のデフォルト値は2400bps)
伝送コード	JIS8単位符号
スタートビット	1ビット
ストップビット	1ビット
パリティ	偶数パリティ
伝送制御手順	無手順
使用コネクタ	DSUB-9ピン

- ・電文は、JIS8コード(全角文字はシフトJISコード)を使用する。
- ・電文の先頭にはSTX(02H)を、末尾にはETX(03H)を付加する。

<注意点>

1. RS232C使用される場合にARS-800Fへ登録する内容で制限されるものがあります。
ARS-702Fとの互換性をとるためのものです。
 - ①電話番号の桁数 最大16桁まで(登録で入力できる桁数は最大20桁)
 - ②管理番号の桁数 最大 6桁まで(登録で入力できる桁数は最大 9桁)
 - ③個人名 の桁数 最大15桁まで(登録で入力できる桁数は最大36桁)
 - ④グループの最大登録数100(登録で入力できるグループ数は最大1000)
 - ⑤ポケベルデータの最大登録数99(登録で入力できるポケベルデータ数は最大100)
2. ARS800Fの初期登録はダウンロードする初期登録内容以外の設定は初期値のままとなります。
 - ①ID確認リトライ回数は 3回(固定)。
 - ②追っかけ通知 “しない”
※通知先データのダウンロードについて1個人情報に複数電話番号の登録ができません。
 - ③相手応答判定は通知・着信ともにリバースのみとなります。
 - ④着信ベル回数は 1回(固定)。
 - ⑤タイムスタンプは “しない”。
 - ⑥外部ブザー出力は “操作確認出力”。
 - ⑦ナンバーディスプレイは “しない”。
3. メール設定及び通知は未対応

例外設定として

- ①通知設定1/5、P01コマンドの<ID設定>は着信設定も共通参照となります。
- ②人数制限“する”場合は回答1(可)のみ対象となります。

- ③確認Yesダイヤル値は通知設定5/5の”可”のダイヤル値と同一。
- ④確認Noダイヤル値は通知設定5/5の”不可”のダイヤル値と同一。
- ⑤着信待ち受け時間は無制限となります。
- ⑥トーキ判定“する／しない”はP08コマンド追加して対応となります。

2. コマンドの種類

2-1. ホスト → 指令装置

2-1-1. メッセージ録音・再生制御

- ① 指令メッセージ録音開始
- ② テレガイドメッセージ録音開始
- ③ 録音終了
- ④ 指令メッセージ再生開始
- ⑤ テレガイドメッセージ再生開始
- ⑥ 再生動作中止

2-1-2. 通知制御

- ① マニュアル通知（開始）
- ② ワンタッチ通知（開始）
- ③ ダイレクト通知（開始）
- ④ テレガイドリモート録音開始
- ⑤ 通知終了
- ⑥ 通知強制終了
- ⑦ 指令装置状態要求

2-1-3. 登録、データ転送制御

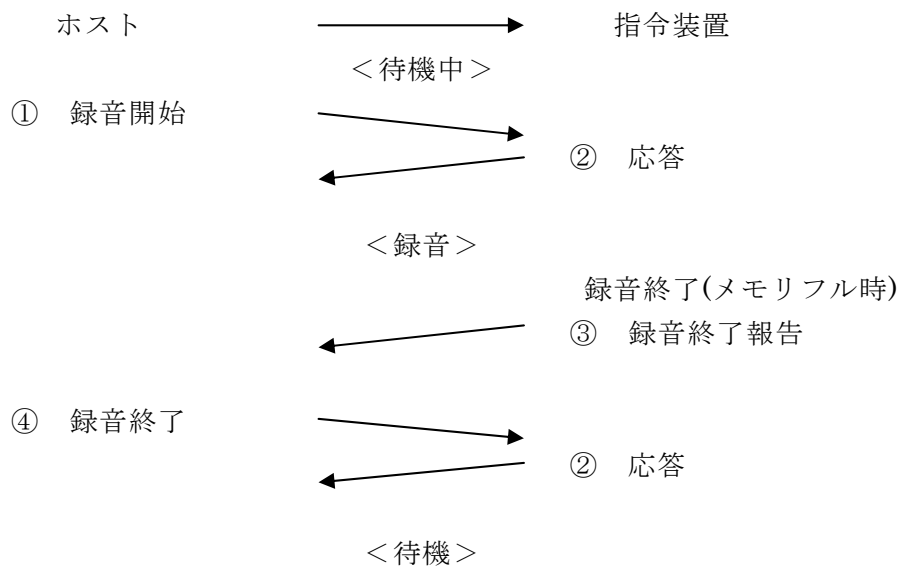
- ① データのダウンロード
- ② ID種別設定
- ③ YES/NO 判定設定
- ④ 話中／留守／不明の再通知設定
- ⑤ 通知方式設定
- ⑥ 人数制限設定
- ⑦ 着信時の YES/NO 判定設定
- ⑧ 着信時のメッセージ設定
- ⑨ 通知結果転送要求-1
- ⑩ 通知結果転送要求-2
- ⑪ 時刻補正

2-2. 指令装置 → ホスト

- ① 応答
- ② 状態報告
- ③ 通知結果報告
- ④ テレガイド結果報告
- ⑤ 通知終了報告
- ⑥ 再生終了報告

3. 各コマンド電文フォーマット

3-1. メッセージ録音



① 録音開始 (ホスト → 指令装置)

(ア) 指令メッセージ録音開始

コマンド(2)	チャンネルNo(2)
M2	XX

()内はバイト数

- パラメータで指定されたチャンネルNo (XX) の指令メッセージの録音を開始する。

XX=01～69：情報メッセージ

71～75：本人確認メッセージ

- チャンネルの指定が無い時は、チャンネル1の録音を開始する。

(イ) テレガイド用メッセージ録音開始

コマンド(2)
M1

- テレガイド用メッセージ (チャンネル70固定) の録音を開始する。

② 応答 (指令装置 → ホスト)

(ア) コマンド実行可能時

応答コード(1)
A

- コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

(イ) コマンド実行不可時

応答コード(1)
N

- ・コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。
理由として
- (a) 該当メッセージが未録音でメモリアルの時
- (b) コマンドパラメータ数不一致の時

③ 録音終了報告 (指令装置 → ホスト)

コマンド(1)
E

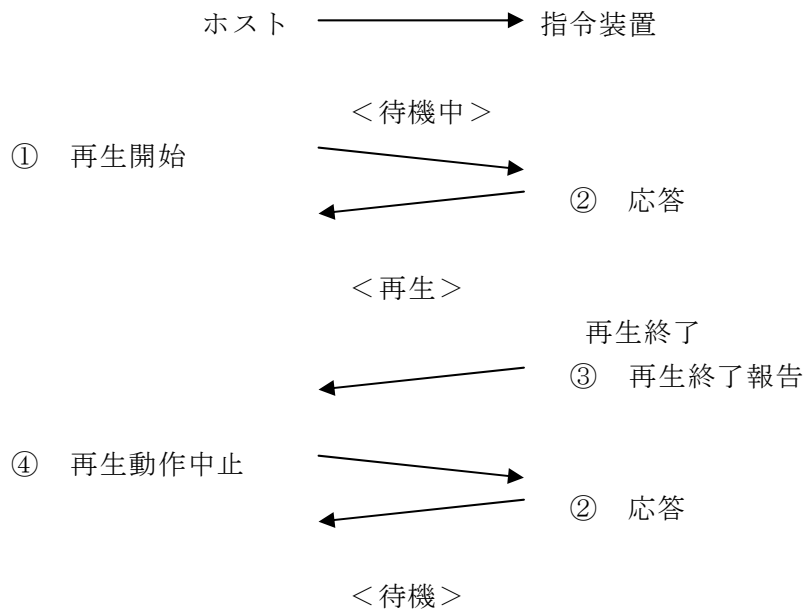
- ・録音中にメモリアルとなり、録音を終了したことをホストに知らせる。
この時、ホストからの「録音終了」コマンドは不要。

④ 録音終了 (ホスト → 指令装置)

コマンド(1)
e

- ・メッセージの録音を終了する。

3-2. メッセージ再生



① 再生開始 (ホスト → 指令装置)

(ア) 指令メッセージ再生開始

コマンド(2)	チャンネルNo(2)
G2	XX

()内はバイト数

- ・パラメータで指定されたチャンネルNo. (XX) の指令メッセージの再生を開始する。

XX= 01～69 : 情報メッセージ

71～75 : 本人確認メッセージ

- ・チャンネルの指定が無い時は、チャンネル1の再生を開始する。

(イ) テレガイド用メッセージ再生開始

コマンド(2)
G1

- ・テレガイド用メッセージ (チャンネル70固定) の再生を開始する。

② 応答 (指令装置 → ホスト)

(ア) コマンド実行可能時

応答コード(1)
A

- ・コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

(イ) コマンド実行不可時

応答コード(1)
N

- ・コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。

理由として

(a) 該当メッセージが未録音の時

(b) コマンドパラメータ数不一致の時

③ 再生終了報告 (指令装置 → ホスト)

コマンド(1)
E

- ・再生が終了したことをホストに知らせる。

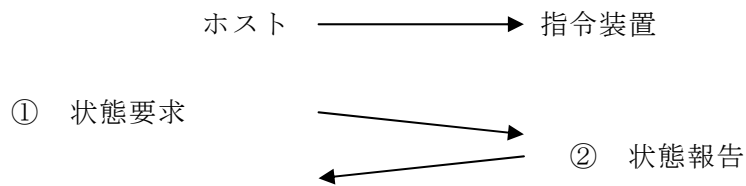
この時、ホストからの「再生動作中止」コマンドは不要。

④ 再生動作中止 (ホスト → 指令装置)

コマンド(1)
e

- ・メッセージの再生を終了する。

3-3. 指令装置状態要求



① 状態要求 (ホスト → 指令装置)

コマンド(1)
S 又は H

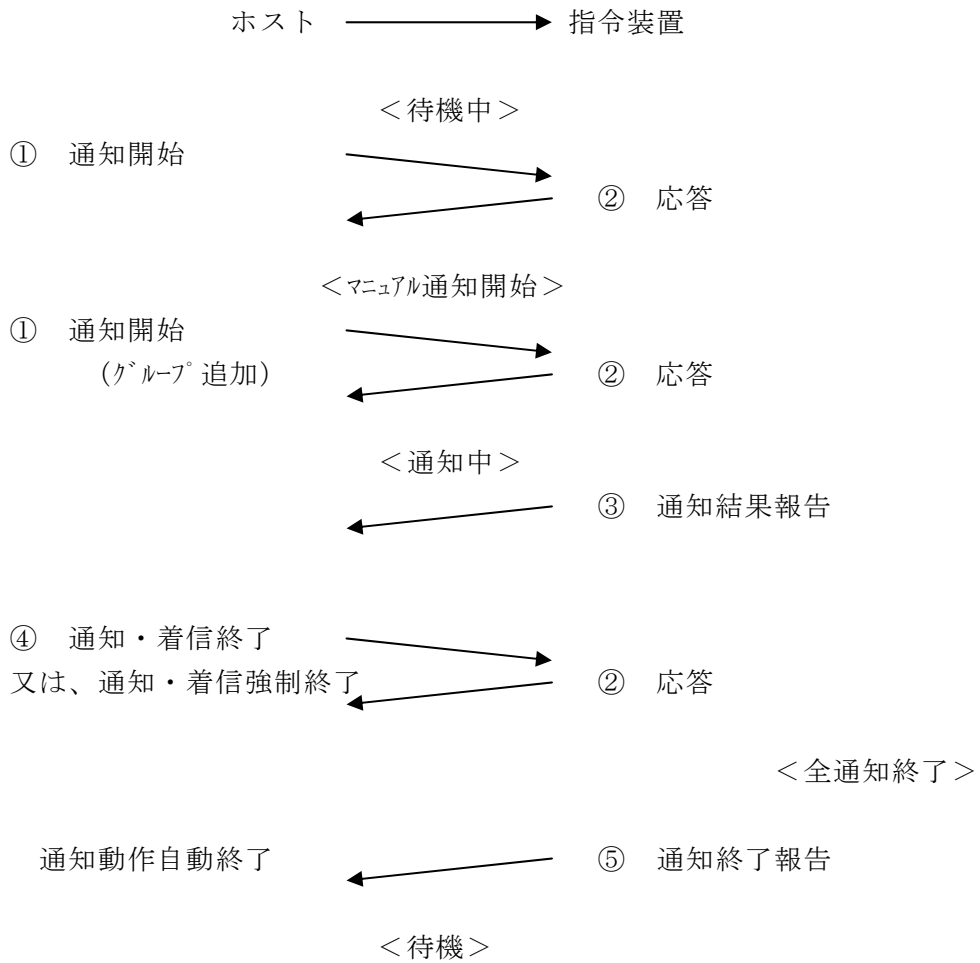
- ・ 指令装置の動作状態を要求する。
着信状態を判定に含める場合はHコマンドを使用すること
S コマンドは着信状態はLで返される

② 状態報告 (指令装置 → ホスト)

応答コード(1)
X

- ・ 状態要求に対する回答
 - X = B : 通知中 (グループ通知、ワンタッチ通知、ダイレクト通知、テレガイド通知)
 - C : 着信中 ('H' コマンド時のみ)
 - L : 待機中
 - M : 録音中 / 再生中
 - 0 : ローカル動作中
(ホストからの指令以外で動作中の時)
 - b : ダイレクト通知モード待機中
(ダイレクト通知コマンド受信待ち)

3-4. マニュアル通知



① 通知開始 (ホスト → 指令装置)

コマンド(1)	グループ No.(2)	プリ CH(2)	本 CH(2)	制限人数(4)
T	XX	XX	XX	XXXX

グループ No. : 通知グループ No. (00、01～99)

(‘00’ は、グループ No.100の意)

プリ CH : 本人確認メッセージチャンネル (71～75)

本人確認メッセージ使用”しない”時は ‘00’

本 CH : 情報メッセージチャンネル (01～69)

制限人数 : 通知単位の制限人数を指定する (0001～9999)

通知設定”人数制限”する“で有効(“通知単位”固定)

- ・ プリ CH、本 CH、人数制限 パラメータ省略時は
 本人確認メッセージ(プリ CH) : 71チャンネル
 情報メッセージ(本 CH) : 01チャンネル
 人数制限 : しない

となる

- ・ パラメータで指定されたグループの通知を行う。最大100グループ

(本コマンドを100回)まで指定可能。

- ・チャンネル、制限人数の指定は、待機中に本コマンドを受付けた時のみ有効で、グループ毎に変えることは出来ない。
- ・着信設定“あり”で待受け時間がある場合は通知後からの着信中でもコマンドは有効となる。この時、着信動作から通知動作に戻り、通知継続となる。

② 応答 (指令装置 → ホスト)

(ア) コマンド実行可能時

応答コード(1)
A

- ・コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

(イ) コマンド実行不可時

応答コード(1)
N 又は n

- ・コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。
 - Nの時：(a)指定グループの登録が無い、又は、設定済みグループ
 - (b)メッセージの録音が無い
 - (c)すでに100グループ設定されている
 - (d)コマンドパラメータ数不一致の時
 - (e)本体より通知動作中の時
- nの時：(a)グループ追加処理中

③ 通知結果報告 (指令装置 → ホスト)

<通知結果>

コマンド(1)	電話番号(16)	通知結果(1)
R	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	X

電話番号 : 通知電話番号 (16桁未満は右詰め、残りはSP
内線指定時は先頭”F” +最大12桁右詰め)

通知結果 : X= B: 話中 (相手話中時)
 N: 不出 (相手不応答時)
 O: 応答 (回答入力しない時の相手応答)
 K: 出動可 (回答1 (YES 回答) 有り時)
 F: 出動不可 (回答2 (NO 回答) 有り時)
 C: 任意回答 (回答3 有り時)
 V: 任意回答 (回答4 有り時)
 P: Pベル (ポケットベル呼出し応答)
 D: 不明 (回答なし時)
 T: トーキ

<着信結果> ※本人確認ができた個人結果のみ転送される

コマンド(1)	電話番号(16)	着信結果(1)
U	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	X

電話番号 : 通知電話番号 (16桁未満は右詰め、残りはSP
内線指定時は先頭”F” +最大12桁右詰め)

通知結果 : X=D 不明 (回答なし時)
 O: 応答 (回答入力しない時の相手応答)
 K: 出動可 (回答1 (YES 回答) 有り時)
 F: 出動不可 (回答2 (NO 回答) 有り時)
 C: 任意回答 (回答3 有り時)
 V: 任意回答 (回答4 有り時)

・1電話番号分の処理が終了した時にホストに通知結果を知らせる。
 ※情報未、未(緊急)、未(Pベル)、未(内線)はD:不明になります。

④ 通知・着信終了 又は、通知・着信強制終了 (ホスト → 指令装置)

(ア) 通知・着信終了

コマンド(1)
E

- ・通知処理を終了する。但し、処理途中の回線がある場合には、全ての回線の処理が完了後待機となる。

(イ) 通知・着信強制終了

コマンド [*] (1)
C

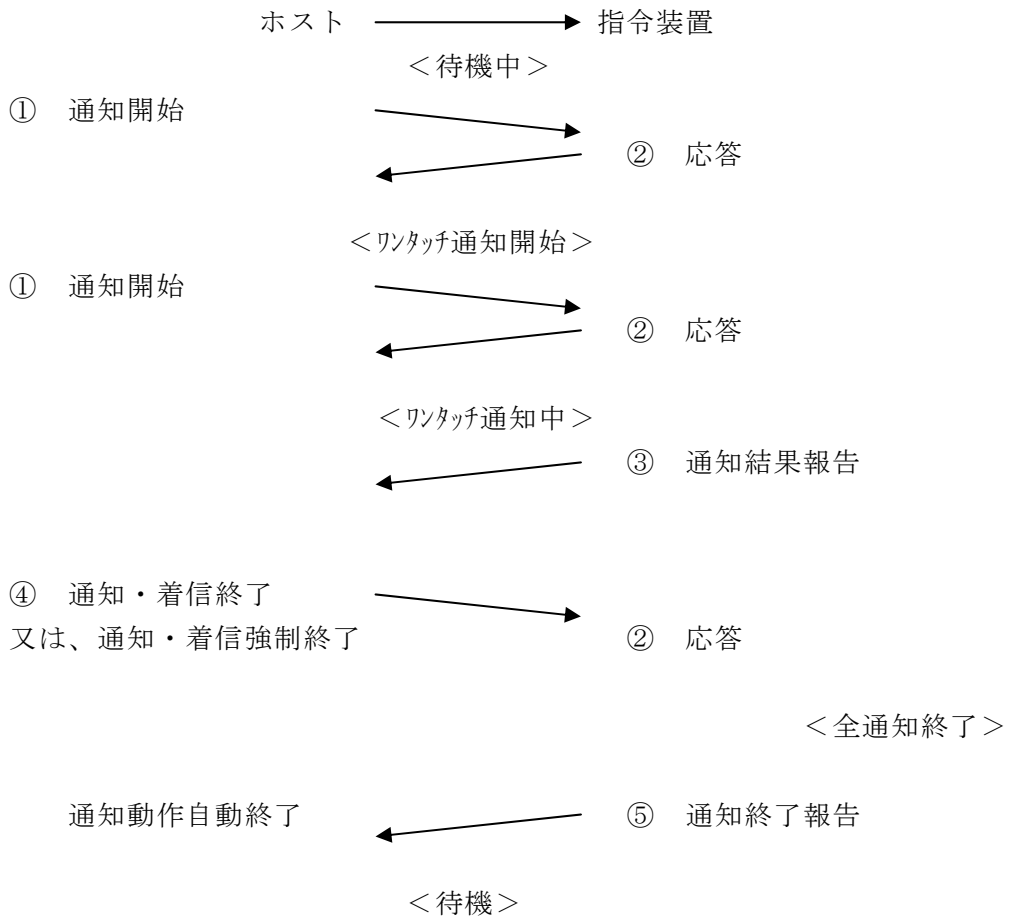
- ・処理途中の回線があっても、強制的に通知処理を終了する。

⑤ 通知終了報告 (指令装置 → ホスト)

コマンド [*] (1)
E

- ・次の場合に報告される。
 - (a) 全通知終了時
 - (b) 終了コマンドによる通知動作終了時
 - (c) 着信待ち受け時間終了時

3-5. ワンタッチ通知



① 通知開始 (ホスト → 指令装置)

コマンド ^①	ワンタッチ No.(2)	制限人数(4)
W	XX	XXXX

ワンタッチ No. : 通知ワンタッチ No. (01～60)

制限人数 : 通知単位の制限人数を指定する (0001～9999)
通知設定”人数制限 通知単位”でのみ有効
省略時は人数制限をしない。

- ・パラメータで指定されたワンタッチの通知を行う。
最大60ワンタッチ (本コマンドを60回) まで指定可能。

② 応答 (指令装置 → ホスト)

(ア) コマンド実行可能時

応答コード ^①
A

- ・コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

(イ) コマンド実行不可時

応答コード(1)
N 又は n

- ・ コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。
 - N の時 : (a)指定ワンタッチの登録が無い、又は、設定済みワンタッチ
 - (b)メッセージの録音が無い
 - (c)すでに60ワンタッチ設定されている
 - (d)コマンドパラメータ数不一致の時
 - (e)本体より通知動作中の時
- n の時 : (a)ワンタッチ追加処理中

③ 通知結果報告 (指令装置 → ホスト)

<通知結果>

コマンド(1)	電話番号(16)	通知結果(1)
R	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	X

電話番号 : 通知電話番号 (16桁未満は右詰め、残りはSP
内線指定時は先頭”F” +最大12桁右詰め)

通知結果 : X=B: 話中 (相手話中時)
 N: 不出 (相手不応答時)
 O: 応答 (回答入力しない時の相手応答)
 K: 出動可 (回答1 (YES回答) 有り時)
 F: 出動不可 (回答2 (NO回答) 有り時)
 C: 任意回答 (回答3有り時)
 V: 任意回答 (回答4有り時)
 P: Pベル (ポケットベル呼出し応答)
 D: 不明 (回答なし時)
 T: トーキ

<着信結果> ※本人確認ができた個人結果のみ転送される

コマンド(1)	電話番号(16)	着信結果(1)
U	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	X

電話番号 : 通知電話番号 (16桁未満は右詰め、残りはSP
内線指定時は先頭”F” +最大12桁右詰め)

通知結果 : X=D 不明 (回答なし時)
 O: 応答 (回答入力しない時の相手応答)
 K: 出動可 (回答1 (YES回答) 有り時)
 F: 出動不可 (回答2 (NO回答) 有り時)
 C: 任意回答 (回答3有り時)
 V: 任意回答 (回答4有り時)

- ・ 1電話番号分の処理が終了した時にホストに通知結果を知らせる。
- ※ 情報未、未(緊急)、未(Pベル)、未(内線)はD:不明になります。

④ 通知・着信終了 又は、通知・着信強制終了 (ホスト → 指令装置)

(ア) 通知・着信終了

コマンド(1)
E

- ・ 通知処理を終了する。但し、処理途中の回線がある場合には、全ての

回線の処理が完了後待機となる。

(イ) 通知・着信強制終了

コマンド ⁽¹⁾
C

・処理途中の回線があっても、強制的に通知処理を終了する。

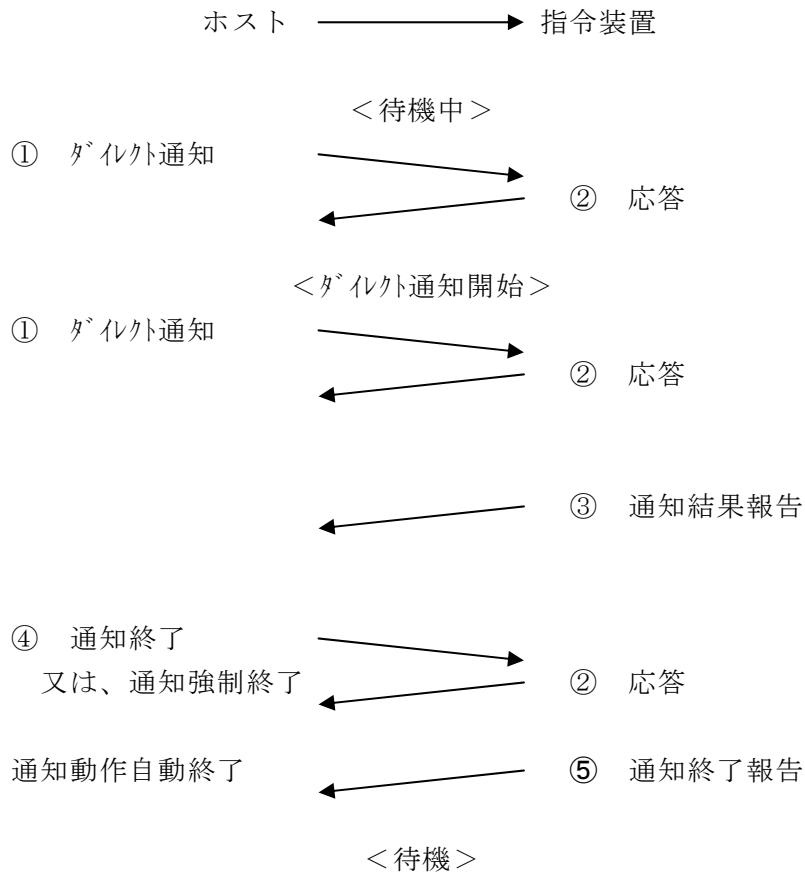
⑤ 通知終了報告 (指令装置 → ホスト)

コマンド ⁽¹⁾
E

・次の場合に報告される。

- (a) 全通知終了時
- (b) 終了コマンドによる通知動作終了時
- (c) 着信待ち受け時間終了時

3-6. ダイレクト通知



① ダイレクト通知 (ホスト → 指令装置)

コマンド(1)	電話番号(16)	管理 No.(6)	プリ CH(2)	本 CH(2)	ポケベルデータ(60)	ポーズ時間(2)
D	XXX~ XXXXXX	XXXXXXX	XX	XX	XXX~ XXXXXXXXX	XX

- 電話番号 : 通知電話番号
(右詰めで最大16桁の数字。余白はSPで埋める。
内線指定時は先頭”F”+最大12桁右詰め)
- 管理 No. : 管理番号
(右詰めで最大6桁の数字。余白はSPで埋める)
- プリ CH : 本人確認メッセージチャンネル(71~75)
本人確認メッセージ使用”しない”時は‘00’
- 本 CH : 情報メッセージチャンネル(01~69)
- ポケベルデータ : ポケベルメッセージデータ(右詰めで最大60桁
の半角英数カナが使用可能。余白はSPで埋める。)
ポケベルに表示する文字を設定する。
(ARS-702Fとは、異なります。)
- ポーズ時間 : ポケベルセンター応答からデータを受付け可能と
なるまでの時間。(00~99(秒))
ポケベルを呼出さない時は、SPで埋める。

プリ CH、本 CH、ポケベルデータ、ポーズ時間のパラメータ省略時は
(ポケベルデータ・ポーズ時間のみの省略も可)
本人確認メッセージ(プリ CH)は71チャンネル、
情報メッセージ(本 CH)は1チャンネル、
ポケベル指定はしないとなる

- ・パラメータで指定された電話番号に通知する。
- ・最大10000件まで通知可能。
- ・通知メッセージチャンネルの指定は、待機中に本コマンドを受付けた時のみ有効。

② 応答 (指令装置 → ホスト)

(ア) コマンド実行可能時

応答コード(1)
A

- ・コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

(イ) コマンド実行不可時

応答コード(1)
N

- ・コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。
 - (a)指令用メッセージの録音が無い
 - (b)電話番号用メモリフルの時
 - (c)コマンドパラメータ数不一致の時
 - (d)本体より通知動作中の時

③ 通知結果報告 (指令装置 → ホスト)

<通知結果>

コマンド(1)	電話番号(16)	通知結果(1)
R	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	X

電話番号 : 通知電話番号 (16桁未満は右詰め、残りはSP内線指定時は先頭”F” +最大12桁右詰め)

通知結果 : X=B: 話中 (相手話中時)
 N: 不出 (相手不応答時)
 O: 応答 (回答入力しない時の相手応答)
 K: 出動可 (回答1 (YES回答) 有り時)
 F: 出動不可 (回答2 (NO回答) 有り時)
 C: 任意回答 (回答3 有り時)
 V: 任意回答 (回答4 有り時)
 P: Pベル (ポケットベル呼出し応答)
 D: 不明 (回答なし時)
 T: トーキ

<着信結果> ※本人確認ができた個人結果のみ転送される

コマンド(1)	電話番号(16)	着信結果(1)
U	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	X

電話番号 : 通知電話番号 (16桁未満は右詰め、残りはSP内線指定時は先頭”F” +最大12桁右詰め)

通知結果 : X=D 不明 (回答なし時)
 O: 応答 (回答入力しない時の相手応答)
 K: 出動可 (回答1 (YES回答) 有り時)
 F: 出動不可 (回答2 (NO回答) 有り時)
 C: 任意回答 (回答3 有り時)
 V: 任意回答 (回答4 有り時)

・1電話番号分の処理が終了した時にホストに通知結果を知らせる。
 ※情報未、未(緊急)、未(Pベル)、未(内線)はD:不明になります。

④ 通知終了 又は、通知強制終了 (ホスト → 指令装置)

(ア) 通知終了

コマンド(1)
E

・通知処理を終了する。但し、処理途中の回線がある場合には、

全ての回線の処理が完了後待機となる。

(イ) 通知強制終了

コマンド ⁽¹⁾
C

・ 処理途中の回線があっても、強制的に通知処理を終了する。

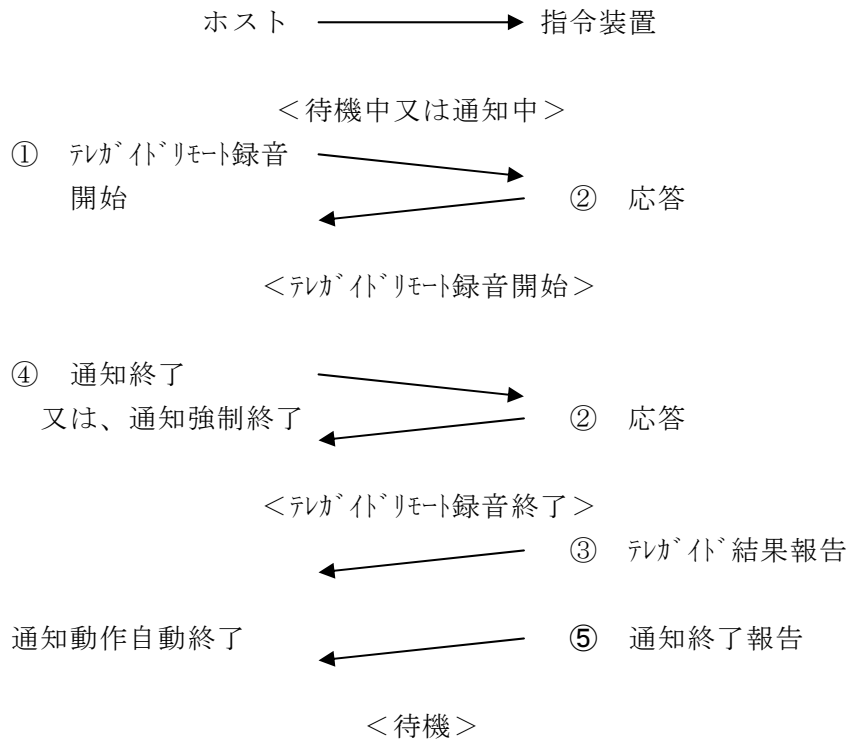
⑤ 通知終了報告 (指令装置 → ホスト)

コマンド ⁽¹⁾
E

・ 次の場合に報告される。

(a) 終了コマンドによる通知動作終了時

3-7. テレガイドリモート録音開始



① テレガイドリモート録音開始 (ホスト → 指令装置)

コマンド(3)	電話番号(16)
TDD	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

電話番号 : 通知電話番号(右詰めで最大16桁の数字。余白はSPで埋める。
内線指定時は先頭”F”+最大12桁右詰め)

- ・テレガイド装置にダイヤルして、指令装置から回線を通してテレガイド装置にメッセージを録音する。
- ・コマンドにより強制終了可能。

② 応答 (指令装置 → ホスト)

(ア) コマンド実行可能時

応答コード(1)
A

- ・コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

(イ) コマンド実行不可時

応答コード(1)
N

- ・コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。
 - (a)テレガイドメッセージの録音が無い
 - (b)コマンドパラメータ数不一致の時
 - (c)本体より通知動作中の時

③ テレガイド結果報告 (指令装置 → ホスト)

コマンド(1)	通知結果(1)
T	X

通知結果 : X=A: 正常終了
N: 異常終了

- ・テレガイドリモート録音動作が終了した時に、ホストに通知結果を知らせる。

④ 通知終了 又は、通知強制終了 (ホスト → 指令装置)

(ア) 通知終了

コマンド(1)
E

- ・テレガイドリモート録音動作を終了する。
但し、処理途中の場合には、処理が完了後待機となる。

(イ) 通知強制終了

コマンド(1)
C

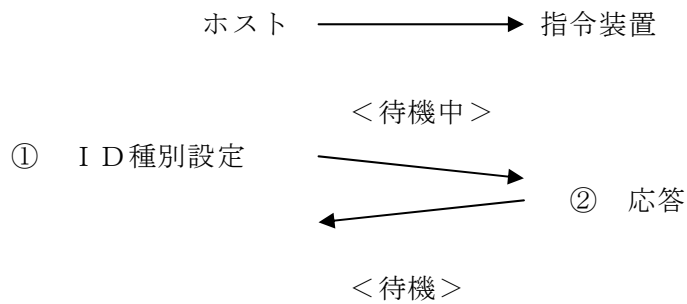
- ・テレガイドリモート録音動作途中であっても、強制的に通知処理を終了する。

⑤ 通知終了報告 (指令装置 → ホスト)

コマンド(1)
E

- ・次の場合に報告される。
 - (a) テレガイドリモート録音動作終了時
 - (b) 終了コマンドによるテレガイドリモート録音動作終了時

3-8. ID種別設定



① ID種別設定 (Host → 指令装置)

コマンド ⁽²⁾	ID種別(1)
P1	X

ID種別 : X=0 個人 (管理 No.を使用)
 =1~9 不特定

- ・ ID種別設定登録をHostから変更する。(本人確認MSG使用“する”で有効)

② 応答 (指令装置 → Host)

(ア) コマンド実行可能時

応答コード ⁽¹⁾
A

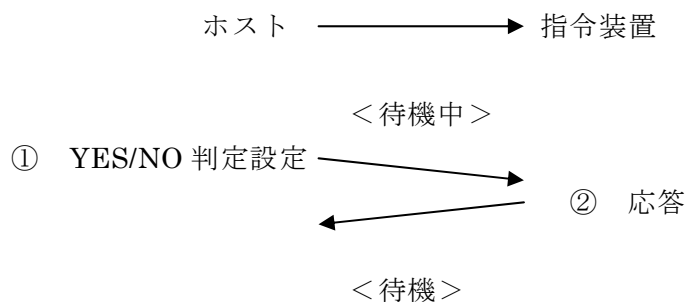
- ・ コマンドを実行出来たことをHostに知らせる。

(イ) コマンド実行不可時

応答コード ⁽¹⁾
N

- ・ コマンドが実行出来なかったことをHostに知らせる。
 - 待機以外で本コマンドを実行した時。
 - コマンドパラメータ数不一致の時。

3-9. YES/NO 判定（回答入力）設定



① YES/NO 判定設定 （ホスト → 指令装置）

コマンド ^②	YES/NO 判定 ^①
P 2	X

YES/NO 判定 : X=0 YES/NO 判定（回答入力）しない
 =1 YES/NO 判定（回答入力）する

・ YES/NO 判定（回答入力）登録をホストから変更する。

② 応答 （指令装置 → ホスト）

（ア）コマンド実行可能時

応答コード ^①
A

・ コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

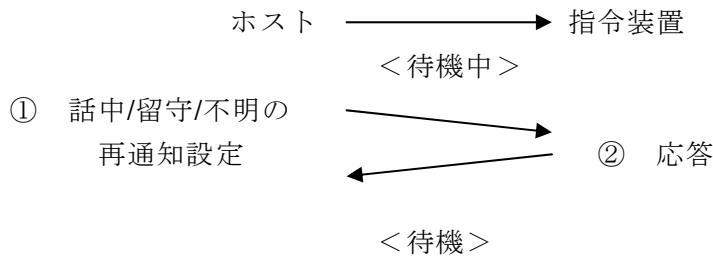
（イ）コマンド実行不可時

応答コード ^①
N

・ コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。

- (a) 待機以外で本コマンドを実行した時
- (b) コマンドパラメータ数不一致の時

3-10. 話中/留守/不明の再通知設定



① 話中/留守/不明の再通知設定 (ホスト → 指令装置)

コマンド(2)	再通知間隔(1)	再通知回数(1)	話中(1)	留守(1)	不明(1)	トーキ(1)
P3	X	X	X	X	X	X

再通知間隔 : 1～9分
 再通知回数 : 1～9回
 話中 : X=0 対象にしない、X=1 対象にする
 留守 : X=0 対象にしない、X=1 対象にする
 不明 : X=0 対象にしない、X=1 対象にする
 トーキ : X=0 対象にしない、X=1 対象にする

- ・話中留守不明の再通知設定登録をホストから変更する。
- ・再通知しない設定にするには、間隔または回数いずれかを 0 とする。
- ・トーキのみ、又は、話中/留守/不明/トーキのパラメータは省略可
この時、指令装置内の対象“する/しない”の設定は変更しない

② 応答 (指令装置 → ホスト)

(ア) コマンド実行可能時

応答コード(1)
A

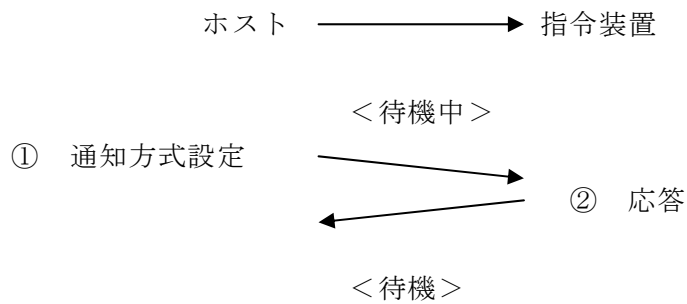
- ・コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

(イ) コマンド実行不可時

応答コード(1)
N

- ・コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。
 - 待機以外で本コマンドを実行した時
 - コマンドパラメータ数不一致の時

3-1-1. 通知方式設定



① 通知方式設定 (ホスト → 指令装置)

コマンド ^②	通知方式 ^①
P4	X

通知方式 : X=0 グループ均等設定
=1 グループ単位設定

- ・通知方式設定登録をホストから変更する。

② 応答 (指令装置 → ホスト)

(ア) コマンド実行可能時

応答コード ^①
A

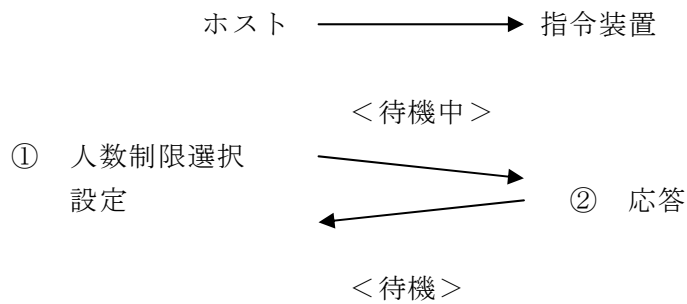
- ・コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

(イ) コマンド実行不可時

応答コード ^①
N

- ・コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。
 - (a) 待機以外で本コマンドを実行した時
 - (b) コマンドパラメータ数不一致の時

3-1-2. 人数制限選択設定



① 人数制限選択設定 (ホスト → 指令装置)

コマンド ^②	人数制限(1)
P 5	X

人数制限 : X=0 人数制限しない
 =1 通知単位にて人数制限する
 =2 グループ単位にて人数制限する

・人数制限選択設定登録をホストから変更する。

② 応答 (指令装置 → ホスト)

(ア) コマンド実行可能時

応答コード ^①
A

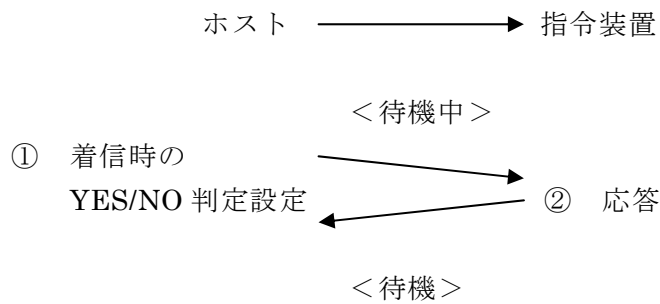
・コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

(イ) コマンド実行不可時

応答コード ^①
N

・コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。
 (a) 待機以外で本コマンドを実行した時
 (b) コマンドパラメータ数不一致の時

3-1-3. 着信時の YES/NO 判定（回答入力）設定



① 着信時の YES/NO 判定設定（ホスト → 指令装置）

コマンド ^②	YES/NO 判定 ^①
P 6	X

YES/NO 判定 : X=0 YES/NO 判定（回答入力）しない
 =1 YES/NO 判定（回答入力）する

・着信時の YES/NO 判定（回答入力）登録をホストから変更する。

② 応答（指令装置 → ホスト）

（ア）コマンド実行可能時

応答コード ^①
A

・コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

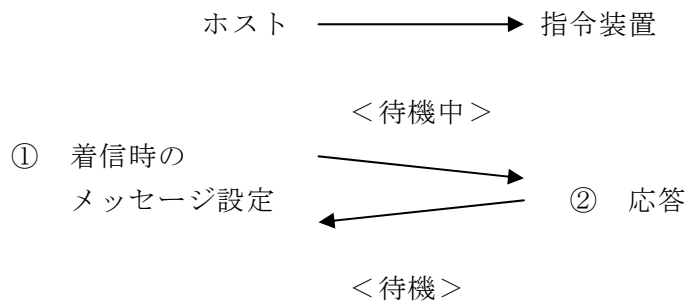
（イ）コマンド実行不可時

応答コード ^①
N

・コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。

- (a) 待機以外で本コマンドを実行した時
- (b) コマンドパラメータ数不一致の時

3-14. 着信時のメッセージ設定



① 着信時のメッセージ設定 (ホスト → 指令装置)

コマンド(2)	プリCH(2)	プリ送出回数(1)	プリポーズ時間(2)	本CH(2)	本送出回数(1)	本ポーズ時間(2)
P7	XX	X	XX	XX	X	XX

- プリCH : 本人確認メッセージチャンネル(00、71～75、##)
- プリ送出回数 : 本人確認メッセージの送出回数(0、1～9)
- プリポーズ時間 : 本人確認メッセージ送出後のポーズ時間(00～10)
- 本CH : 情報メッセージチャンネル(01～69、##)
- 本送出回数 : 情報メッセージの送出回数(1～9)
- 本ポーズ時間 : 情報メッセージ送出後のポーズ時間(00～10)

- ・着信時のメッセージ設定をホストから変更する。
- ・本人確認メッセージを使用しない時は、プリCH、プリ送出回数、プリポーズ時間全てを“0”とする。
- ・パラメータ省略時は、着信設定“しない”設定となる。
- ・追記：着信時のメッセージ設定はマニュアル通知のみ有効。
本人確認メッセージを使用しない時、情報メッセージも指定不可。
但し、プリCH<>0 & プリ送出回数=0で指定不可とする。

② 応答 (指令装置 → ホスト)

(ア) コマンド実行可能時

応答コード(1)
A

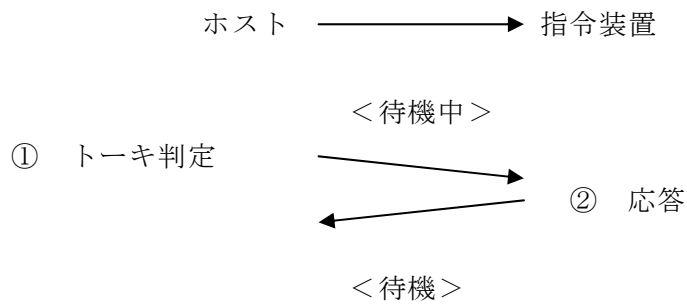
- ・コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

(イ) コマンド実行不可時

応答コード(1)
N

- ・ コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。
 - (a) 待機以外で本コマンドを実行した時
 - (b) コマンドパラメータ数不一致の時

3-15. トーキ判定



① ID種別設定 (ホスト → 指令装置)

コマンド ⁽²⁾	ID種別(1)
P8	X

トーキ判定 : X=0 しない
 =1 する

・回線設定 “トーキ判定”をホストから変更する。

② 応答 (指令装置 → ホスト)

(ア) コマンド実行可能時

応答コード ⁽¹⁾
A

・コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

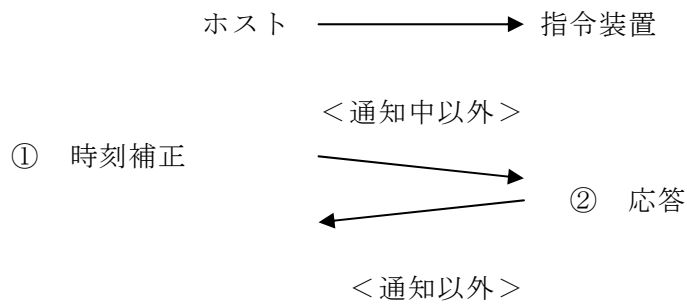
(イ) コマンド実行不可時

応答コード ⁽¹⁾
N

・コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。

- (a) 待機以外で本コマンドを実行した時。
- (b) コマンドパラメータ数不一致の時。

3-16. 時刻補正



① 時刻補正 (ホスト → 指令装置)

コマンド ⁽¹⁾	年	月	日	時	分	秒
J	XX	XX	XX	XX	XX	XX

年 : 00～99
 月 : 01～12
 日 : 01～31
 時 : 00～23
 分 : 00～59
 秒 : 00～59

・指令装置の時刻をホストから変更する。

② 応答 (指令装置 → ホスト)

(ア) コマンド実行可能時

応答コード ⁽¹⁾
A

・コマンドを実行出来たことをホストに知らせる。

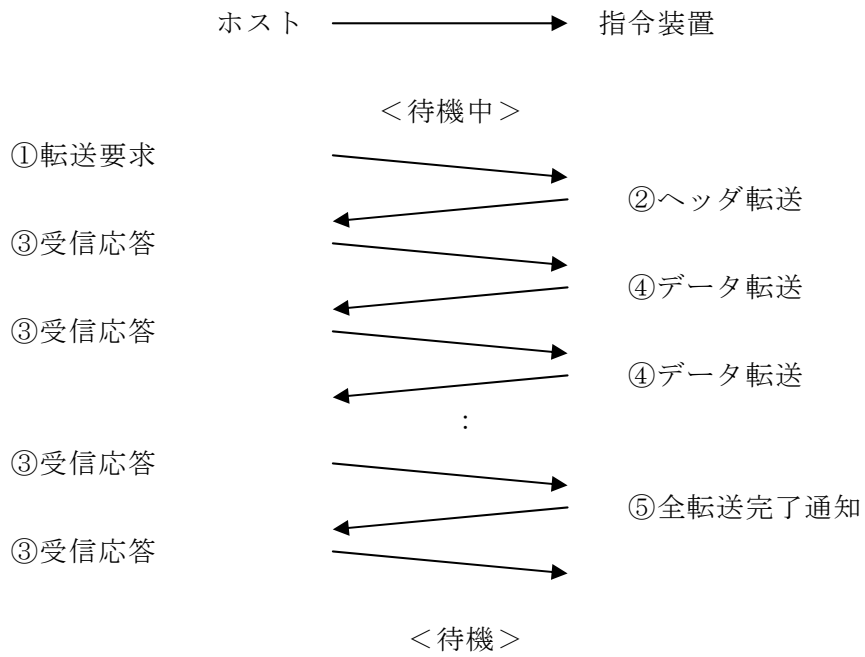
(イ) コマンド実行不可時

応答コード ⁽¹⁾
N

・コマンドが実行出来なかったことをホストに知らせる。

- (a) 通知動作中に本コマンドを実行した時
- (b) コマンドパラメータ数不一致の時

3-17. 通知結果転送要求 - 1



① 転送要求 (Host → 指令装置)

コマンド(1)
K

- ・最新の通知分の全通知結果の転送を要求する。
- ・待機中のみ受け付け可能。

②ヘッダ転送 (指令装置 → ホスト)

(1) 転送可能時

応答コード ^②	開始年月日(6)	曜日(1)	時分(4)	終了時分(4)
RH	XXXXXX	X	XXXX	XXXX

- 開始年月日 : 通知開始の年月日を示す。
 例) 2004年 5月18日 -- 040518
- 曜日 : 通知開始の曜日を示す。
 曜日: 日 月 火 水 木 金 土
 値 : 0 1 2 3 4 5 6
- 時分 : 通知開始の時分を示す。
 例) 9時30分 -- 0930
- 終了時分 : 通知終了の時分を示す。

(2) 転送不可時

応答コード ^①
N

- <転送不可となる条件>
- ・待機中でない
 - ・通知結果がない

③受信応答 (ホスト → 指令装置)

応答コード ^②
KA

- ・ヘッダ転送、データ転送又は全転送完了通知を受信出来た時送信する。
- ・この応答コード以外で応答した時、指令装置は転送処理を強制終了し、コマンド待ちとなる。

④データ転送 (指令装置 → ホスト)

応答コード(2)	ワンタッチ No(2)	グループ No(2)	電話番号(16)	通知結果(1)	着信結果(1)	送出回数(2)	通知時刻(4)
RD	XX	XX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	X	X	XX	XXXX

ワンタッチ No : ワンタッチ通知時有効 (01~60)

*グループ通知時は 00 固定

グループ No : グループ番号 (00~99)

電話番号 : 16桁の電話番号で16桁未満の場合は右詰めで、残りはSPで詰める。

通知結果 : 通知結果を示す。

- = B : 話中 (相手話中時)
- N : 不出 (相手不応答時)
- O : 応答 (回答入力しない時の相手応答)
- K : 出動可 (回答1 (YES 回答) 有り時)
- F : 出動不可 (回答2 (NO 回答) 有り時)
- C : 任意回答 (回答3 有り時)
- V : 任意回答 (回答4 有り時)
- P : Pベル (ポケットベル呼出し応答)
- D : 不明 (回答なし時)
- T : トーキ
- S : 停止 (停止設定時)
- M : 未通知

着信結果 : 着信結果を示す。

- = O : 応答 (回答入力しない時の相手応答)
- K : 出動可 (回答1 (YES 回答) 有り時)
- F : 出動不可 (回答2 (NO 回答) 有り時)
- C : 任意回答 (回答3 有り時)
- V : 任意回答 (回答4 有り時)
- D : 不明 (回答無し時)
- M : 未着信

送出回数 : この電話番号で何回通知したかを示す。
未通知の場合は”00”となる。

通知時刻 : この電話番号への最後の通知を終了した時間を示す。
未通知の場合は”0000”となる。

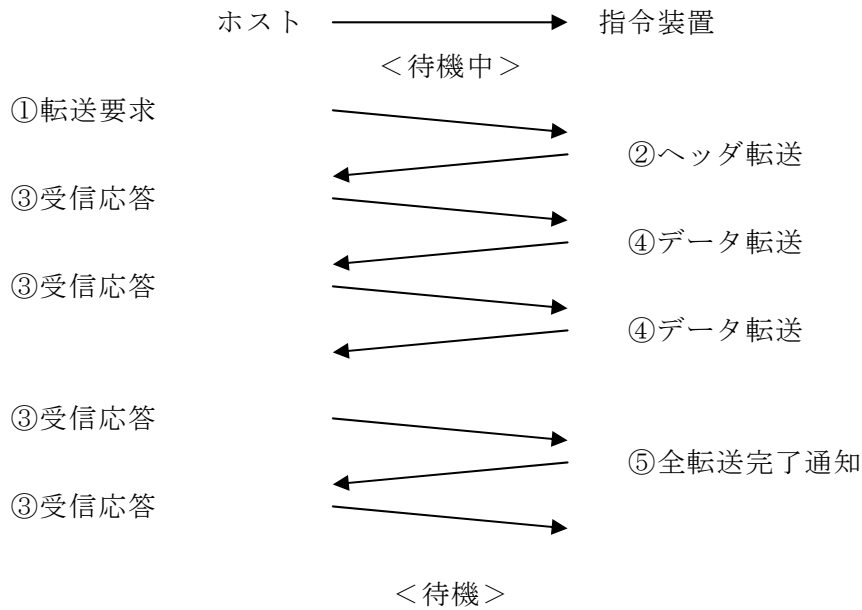
※情報未、未(緊急)、未(Pベル)、未(内線)はD:不明になります。

⑤全転送完了通知 (指令装置 → ホスト)

応答コード(2)
RE

- ・ 1 通知分の全データ転送終了時に送信される。

3-18. 通知結果転送要求 - 2



①転送要求 (ホスト → 指令装置)

コマンド(1)
KD

- ・ 最新の通知分の全通知結果（個人名付）の転送を要求する。
- ・ 待機中のみ受け付け可能。

②ヘッダ転送 (指令装置 → ホスト)

(1) 転送可能時

応答コード(2)	開始年月日(6)	曜日(1)	時分(4)	終了時分(4)
RDH	XXXXXX	X	XXXX	XXXX

- 開始年月日 : 通知開始の年月日を示す。
 例) 2004年 5月18日 -- 040518
- 曜日 : 通知開始の曜日を示す。
 曜日: 日 月 火 水 木 金 土
 値 : 0 1 2 3 4 5 6
- 時分 : 通知開始の時分を示す。
 例) 9時30分 -- 0930
- 終了時分 : 通知終了の時分を示す。

(2) 転送不可時

応答コード [※] (1)
N

<転送不可となる条件>

- ・待機中でない。
- ・通知結果がない。

③受信応答 (ホスト → 指令装置)

応答コード [※] (2)
KDA

- ・ヘッダ転送、データ転送又は全転送完了通知を受信出来た時送信する。
- ・この応答コード以外で応答した時、指令装置は転送処理を強制終了し、コマンド待ちとなる。

④データ転送 (指令装置 → ホスト)

応答コード(2)	ワンタッチ No(2)	グループ No(2)	電話番号(16)	名前 (15)	通知結果(1)	着信結果(1)	送出回数(2)	通知時刻(4)
RDD	XX	XX	XXXX~ XXXX	XXXX~ XXXX	X	X	XX	XXXX

ワンタッチ No : ワンタッチ通知時有効 (01~60)

*グループ通知時は 00

グループ No : グループ番号 (00~99)

電話番号 : 16桁の電話番号で16桁未満の場合は右詰めで残りはSPで詰める。

名前 : 左詰め最大半角15文字

通知結果 : 通知結果を示す。

- = B : 話中 (相手話中時)
- N : 不出 (相手不応答時)
- O : 応答 (回答入力しない時の相手応答)
- K : 出動可 (回答1 (YES 回答) 有り時)
- F : 出動不可 (回答2 (NO 回答) 有り時)
- C : 任意回答 (回答3 有り時)
- V : 任意回答 (回答4 有り時)
- P : Pベル (ポケットベル呼出し応答)
- D : 不明 (回答なし時)
- T : トーキ
- S : 停止 (停止設定時)
- M : 未通知

着信結果 : 着信結果を示す。

- = O : 応答 (回答入力しない時の相手応答)
- K : 出動可 (回答1 (YES 回答) 有り時)
- F : 出動不可 (回答2 (NO 回答) 有り時)
- C : 任意回答 (回答3 有り時)
- V : 任意回答 (回答4 有り時)
- D : 不明 (回答無し時)
- M : 未着信

送出回数 : この電話番号で何回通知したかを示す。
未通知の場合は"00"となる。

通知時刻 : この電話番号への最後の通知を終了した時間を示す。
未通知の場合は"0000"となる。

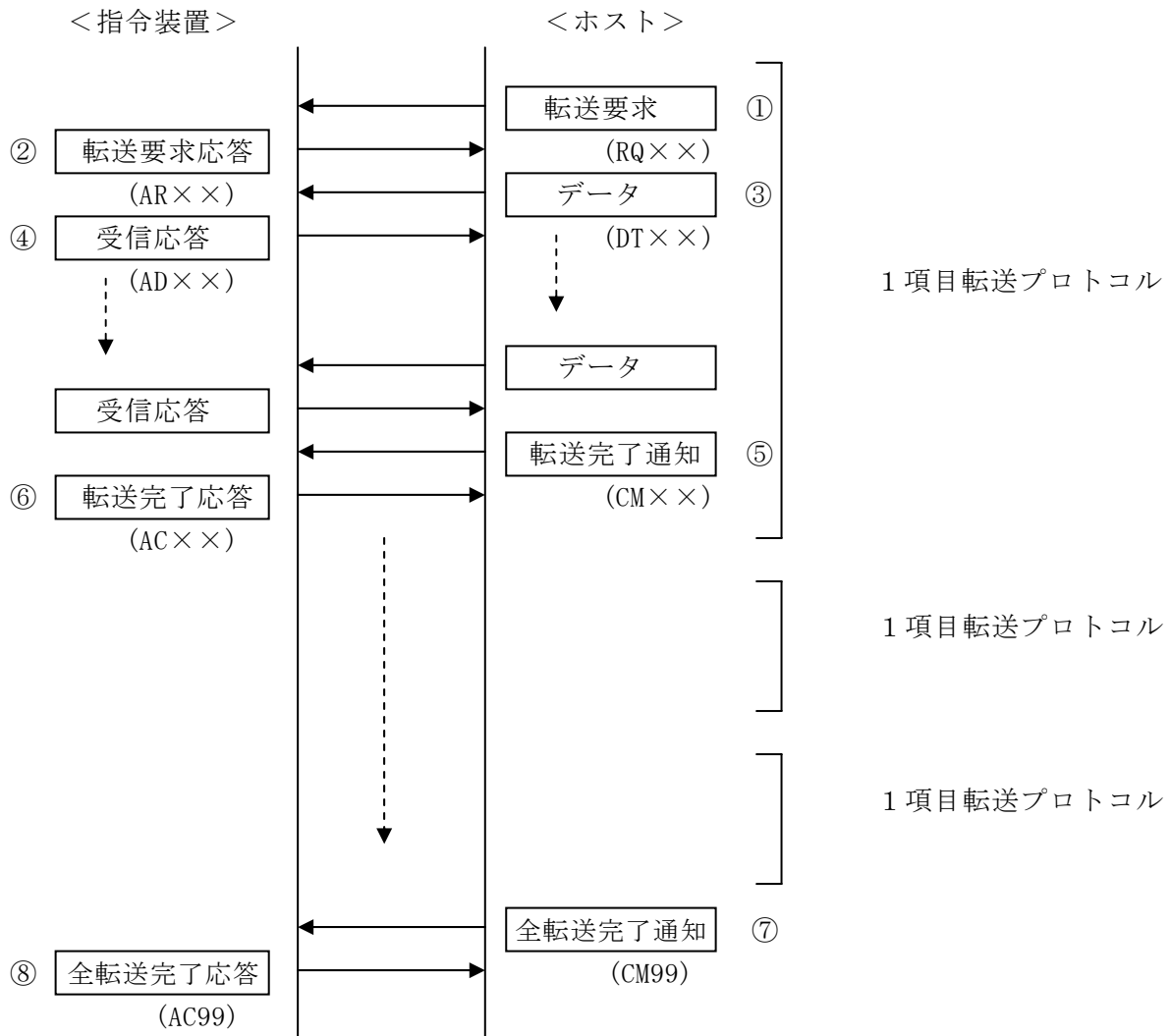
⑤全転送完了通知 (指令装置 → ホスト)

応答コード(2)
RDE

- ・ 1通知分の全データ転送終了時に送信される。

4. データのダウンロード

4-1. プロトコル



※ 転送開始後のデータ間の待ち時間は3秒。
3秒経過後は転送要求待ちとなる。

4-2. データ・フォーマット

4-2-1. 基本フォーマット

種 別	データ	チェック・サム	CR
←チェック・サム生成対象データ→		CR : 0DH	

種 別 : 通信の種別
 データ : データ本体
 チェック・サム : 生成対象データの各1バイトをバイナリ・データとして加算した結果の下位1バイトを16進数2桁のJIS8単位符号に変換したもの

4-2-2. 詳細フォーマット

①転送要求 (ホストより)

(1) 通知データ

(4)	(5)	(10)	(2)
通信種別	転送データ数	名 前	SUM
R Q 0 0	0 X X X X X	X X X X X X X X X X	X X X X
機種固有番号	グループNo.	ポケベルNo.	()内バイト数
(1)	(2)	(2)	(1)

通信種別 : R Q 0 0

機種固有番号 : 0

転送データ数 : 0 0 0 0 0 ~ 1 0 0 0 0 (該当するグループNo. に登録するデータ数)

※注) 全グループの合計転送データ数10,000件を超えてはいけない

グループNo. : 0 0 ~ 9 9

(“00”は、本装置ではグループNo.100を意味します。)

名前 : 左詰めで最大半角10文字(全角5文字)

余白は“_”(半角スペース)

ポケベルNo. : 0 0 (ポケベルグループでない時)

0 1 ~ 9 9 (ポケベルグループを指定)

・グループNo. = 0 0を受信時に、登録済みの通知データ(個人情報、グループ情報、ワンタッチ情報)が全てクリアされる。

<個人情報の互換性について>

- ①個人情報の管理番号とID番号は同一となります。
- ②ランクは“なし”
- ③ポケベルの最大送信桁数は128バイト固定長となります。

(2) ポケベル・データ (最大ポケベルデータ登録99)

(4) (5)

通信種別 転送データ数 (1)

R	Q	0	1	0	X	X	X	X	X	X	X	C	R
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

機種固有番号 SUM

(1) (2)

通信種別 : R Q 0 1

転送データ数 : 0 0 0 0 0 ~ 0 0 0 9 9 (最大99種類)

(3) ワンタッチグループNo. (最大ワンタッチ登録60)

(4) (5)

通信種別 転送データ数 (1)

R	Q	0	2	0	X	X	X	X	X	X	X	C	R
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

機種固有番号 SUM

(1) (2)

通信種別 : R Q 0 2

転送データ数 : 0 0 0 0 0 ~ 0 0 0 6 0

(4) 初期登録

(4) (5)

通信種別 転送データ数 (1)

R	Q	0	3	0	X	X	X	X	X	X	X	C	R
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

機種固有番号 SUM

(1) (2)

通信種別 : R Q 0 3

転送データ数 : 0 0 0 3 0

(5) グループ毎の人数制限 (最大グループ登録100)

(4) (5)

通信種別 転送データ数 (1)

R	Q	0	4	0	X	X	X	X	X	X	X	C	R
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

機種固有番号 SUM

(1) (2)

通信種別 : R Q 0 4

転送データ数 : 0 0 0 0 0 ~ 0 0 1 0 0

(6) 通知停止 (最大個人情報登録10000)

(4)	(5)	(1)
通信種別	転送データ数	
R Q 0 5	0 X X X X X	X X C R
機種固有番号	SUM	
(1)	(2)	

通信種別 : R Q 0 5

転送データ数 : 0 0 0 0 0 ~ 1 0 0 0 0 (停止設定するデータ数)

(7) 回線設定 (最大12回線対応) <ARS800F 新設>

(4)	(5)	(1)
通信種別	転送データ数	
R Q 0 6	0 X X X X X	X X C R
機種固有番号	SUM	
(1)	(2)	

通信種別 : R Q 0 6

転送データ数 : 0 0 0 1 2

②転送要求応答 (指令装置より)

(4)	(2)
応答種別	SUM
A R X X	X X X C R
応答結果	
(1)	(1)

応答種別 : R Q × × に対する応答

③データ (ホストより)

(1) 通知データ

(4)	(2)	(16)	(2)
データ種別	グループ No.	電話番号	SUM
DT00	XXXXXX XX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XX CR
データNo.	管理No.	名前	
(5)	(6)	(15)	(1)

データ種別 : DT00

データNo. : 00000~09999

グループNo. : 00~99

(“00”は、本装置ではグループ No. 100 を意味します。)

管理No. : 右詰め最大6桁(0~9) 余白は“_”(20H)

(“0”からはじめるNo.も可(702Fでは禁止))

注) 同グループ内で管理No.の重複入力は禁止
異なるグループ間の管理No.重複入力は可

電話番号 : 外線・・・右詰め最大16桁(0~9, *, #) 余白は“_”

内線・・・先頭”F”データ後右詰め最大12桁(“F”は除く)

(0~9, *, #) 余白は“_”

最大12桁

例・・・”F”_01234_____

名前 : 左詰め最大半角15文字(全角7文字)

余白は“_”(半角スペース)

(4) (1) (1) (2) (2) (1) (1)
 データ種別 着信 Y/N プリ ch プリ時 本回

<着信設定> DT03 00002 X 00 X X 00 X XX 00 X XX XX CR

データNo. 閉塞 プリ プリ回 本 ch 本時 SUM
 (5) (2) (1) (1) (2) (2) (2)

データ種別 : DT03
 データNo. : 00002
 着信 : 1～9 着信ベル回数
 閉塞 : 00 回線閉塞時間 (秒)
 Y/N : 0=しない, 1=する 着信時のYES/NO判定
 プリ : 0=しない, 1=する 着信時のプリメッセージ使用
 プリ ch. : 00 (固定) プリメッセージCH
 ※注) ARS800F では、CH 指定はなし
 プリ回 : 1～9 プリメッセージの送出回数
 ※注) プリメッセージ使用” しない” 時はデータ” 0”
 プリ時 : 00～10 プリメッセージ送出後のポーズ時間 (秒)
 ※注) プリメッセージ使用” しない” 時はデータ” 00”
 本 ch. : 00 (固定) 本 メッセージCH
 ※注) ARS800F では、CH 指定はなし
 本回 : 0、1～9 本 メッセージの送出回数
 本時 : 00～10 本 メッセージ送出後のポーズ時間 (秒)

※注)・着信 ” 未使用” 時は、プリ使用” しない” に設定、本回 に “0”
 又は “ ” を指定する (プリ、プリ回=0)
 ・回線閉塞時間は、800F では発信・着信共通の為、<着信設定>での
 指定は無効とします。

(4) (2) (1) (2) (1) (1) (1)
 データ種別 呼出 プリ プリ時本線 I D

<通知設定> DT03 00003 XX XX X X XX X XX X X XX CR

1/5 データNo. 閉塞 回数 本時 不特 SUM
 (5) (2) (1) (2) (1) (2)

データ種別	: DT03	
データNo.	: 00003	
呼出	: 10~60	呼出時間
閉塞	: 00~99	回線閉塞時間 (秒)
プリ	: 0=しない, 1=する	通知時のプリメッセージ使用
回数	: 1~9	プリメッセージの送出回数
		※注) プリメッセージ使用”しない”時はデータ”0”
プリ時	: 00~10	プリメッセージの送出後の
		ポーズ時間 (秒)
		※注) プリメッセージ使用”しない”時はデータ”00”
本線	: 1~9	本メッセージ繰返し送出回数
本時	: 00~10	本メッセージ送出後の
		ポーズ時間 (秒)
I D	: 0=不特定, 1=個人	I D種別
不特	: 1~9	不特定 I D 番号
		”個人”指定時はデータ
		”0”)

(4) (1) (1) (1) (1)
 データ種別 通知 再通 留守 分 (1)

<通知設定> DT03 00004 X X X X X X X X XX CR

2/5 データNo. Y/N 話中 不明 回 SUM
 (5) (1) (1) (1) (1) (2)

データ種別 : DT03
 データNo. : 00004
 通知 : 0 = グループ均等, 1 = グループ単位
 Y/N : 0 = しない, 1 = する 通知時のYES/NO判定
 再通 : 0 = しない, 1 = する 話中, 留守等の再通知
 話中 : 0 = しない, 1 = する 話中を再通知対象する/しない
 留守 : 0 = しない, 1 = する 留守を再通知対象する/しない
 不明 : 0 = しない, 1 = する 不明を再通知対象する/しない
 分 : 1 ~ 9 再通知の間隔 (分)
 ※注) 再通知”しない”時でもいずれか任意設定
 回 : 1 ~ 9 再通知の回数
 ※注) 再通知”しない”時でもいずれか任意設定

(4) (1) (1) (2)
 データ種別 識別 選択 プリ ch (1)

<通知設定> DT03 00005 X X X 1 XX 00 XX CR

3/5 データNo. 制限 簡易 本 ch SUM
 (5) (1) (1) (2) (2)

データ種別 : DT03
 データNo. : 00005
 識別 : 0 = しない, 1 = する ID識別未確認後の本メッセージ送出
 制限 : 0 = しない, 1 = する 通知時の人数制限
 選択 : 0 = グループ毎, 1 = 通知単位
 ※注) 人数制限”しない”時でもいずれか任意設定
 簡易 : 1 = する (固定) 簡易録音 (ワンタッチ録音)
 プリ ch : 71 ~ 75 簡易録音のプリメッセージ
 本 ch : 00 (固定) 簡易録音の本メッセージ

※注) 本 ch は、専用の ch を使用する為、設定しても無効となります。

(4) (1) (1)
 データ種別 相手 選択 (1)
 <通知設定> DT03 00006 X X X X XX CR
 4/5 データNo. 停止消去 SUM
 (5) (1) (1) (2)

データ種別 : DT03
 データNo. : 00006
 相手 : 0 = しない, 1 = する 相手メッセージ録音
 停止 : 0 = しない, 1 = する 通知停止・解除
 選択 : 0 = グループ毎, 1 = 共通
 ※注) 通知停止・解除”しない”時でもいずれか任意設定
 消去 : 0 = しない, 1 = する 通知後の停止設定消去
 ※注) 通知停止・解除”しない”時でもいずれか任意設定

(4) (2) (2)
 データ種別 繰返 設定 (1)
 <通知設定> DT03 00007 X XX XX XX XXXX XX CR
 5/5 データNo. 桁 可 不可 名前 SUM
 (5) (1) (2) (2) (4) (2)

データ種別 : DT03
 データNo. : 00007
 桁 : 0 = 2桁, 1 = 1桁 回答する桁数
 繰返 : __0~__9, 00~99 メッセージの繰返
 (*、#入力可 未使用時は”__”)
 可 : __0~__9, 00~99 可 (YES) の回答ダイヤル
 (*、#入力可 未使用時は”__”)
 不可 : __0~__9, 00~99 不可 (NO) の回答ダイヤル
 (*、#入力可 未使用時は”__”)
 設定 : __0~__9, 00~99 任意回答するダイヤル
 (*、#入力可 未使用時は”__”)
 名前 : 左詰め最大半角4文字(全角2文字)
 任意設定できるもう1つの回答名
 余白は”_” (半角スペース)
 未使用時は”_____” (半角スペース x 4)

(4) (1) (1) (2) (2) (1) (1)
 データ種別 印字後整列 名 行 プリント

<印字設定> DT03|00008|0|X|0|00|00|0|00|0|0|XX|CR

データNo. 並行 姓 改頁 改行 SUM
 (5) (1) (2) (1) (1) (2)

データ種別	: DT03	
データNo.	: 00008	
印字後	: 0 = しない	通知結果印字後消去
並行	: 0 = しない, 1 = する	通知結果の並行印字
	テレガイド通知は並行印字不可	
整列	: 0 = しない	名前整列印字
姓	: 00] 桁 姓と名の和が25 桁 桁以内であること
名	: 00	
改頁	: 0	プリンタ改頁
行	: 00	頁行数
改行	: 0 = CR + LF	改行コード
プリンタ	: 0 = ESC / P	プリンタ・モード

※ARS-800F では、「並行印字設定」以外、無効となります。

	(4)		(1)	
	データ種別		テスト	(1)
<テスト 発信>	DT03	00009	XXX	CR
	データNo.		SUM	
	(5)		(2)	

データ種別 : DT03
 データNo. : 00009
 テスト : 0 = しない, 1 = する テスト発信

	(4)	(16)	(4)	(2)
	データ種別	電話番号	時刻	SUM
回線1	DT03	00010XXXXXXXXXXXXXX	00XXXX	XXXXXXXXXX
	データNo.		ch.No.	SMTWTF S
	(5)		(2)	(7) (1)

↓

回線10	DT03	00019XXXXXXXXXXXXXX	00XXXX	XXXXXXXXXX
------	------	---------------------	--------	------------

データ種別 : DT03
 データNo. : 00010 ~ 00019
 電話番号 : 右詰め最大16桁 (0~9, *, #) 余白は“_”
 ※注) 内線の設定は不可
 ch.No. : 00 (常に固定のテスト用chを使用の為、変更不可)
 (“00”以外を指定しても無視されます)
 時刻 : 0000 ~ 2359 (未使用時刻のデータ“_____”)
 SMTWTF S : * = テスト発信する, “_” = テスト発信しない

	(4)	(6)	(2)
<リモート ID, 名前>	データ種別	リモート ID	SUM
1	DT03	00020	XXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XX CR
↓	データNo.	名前	(1)
	(5)	(15)	
1 0	DT03	00029	XXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XX CR

データ種別 : DT03
 データNo. : 00020～00029
 リモート ID : 右詰め最大6桁(0～9) 余白は“_”
 (“0”からはじまるIDは禁止)
 名前 : 左詰め最大半角15文字(全角7文字)
 余白は“_”(半角スペース)

(5) グループ毎の人数制限

	(4)	(4)	(2)
	データ種別	人数制限	SUM
	DT04	XXXXX	XX CR
	データNo.	(1)	
	(5)		

データ種別 : DT04
 データNo. : 00000～00099 (グループ番号-1に該当する)
 人数制限 : 右詰め最大4桁の数字で人数制限範囲は0、1～9999
 人数制限なし時 又は、ポケベル指定グループ時は”0”
 データで埋める

(6) 通知停止

(4)	(16)	(2)
データ種別	電話番号	SUM
DT05	XXXXX XXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	X XX CR
データNo. 管理No.	名前	停止 (1)
(5) (6)	(15)	(1)

データ種別 : DT05
 データNo. : 00000~09999
 管理No. : 右詰め最大6桁(0~9) 余白は“_”(20H)
 (“0”からはじめるNo.も可(702Fでは禁止))
 電話番号 : 外線・・・右詰め最大16桁(0~9, *, #) 余白は
 “_”
 内線・・・先頭”F”データ後右詰め最大12桁(“F”は
 除く)
 (0~9, *, #) 余白は“_”

最大12桁

例・・・ “F”_____01234

名前 : 左詰め最大半角15文字(全角7文字)
 余白は“_”(半角スペース)

停止 : 0=停止しない, 1=停止する

(7) 回線設定(最大12回線対応) <ARS-800F 新設>

(4)	(1)	(16)	(4)	(2)
データ種別	種別	電話番号	時刻	SUM
DT06	XXXXX XX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXX	XXXXXXXX XX CR
データNo.	テスト	SMTWTF S		
(5)	(1)	(7)		(1)

データ種別 : DT06
 データNo. : 00000~00011 (=回線番号-1)
 種別 : 0=10PPS, 1=20PPS, 2=PB, 3=未,
 4=着信設定 10PPS, 5=着信設定 20PPS
 6=着信設定 PB, 7=着信専用設定,
 8=リモコン回線設定、9=内線設定
 テスト : テスト発信 0=しない, 1=する
 電話番号 : 右詰め最大16桁(0~9, *, #) 余白は“_”
 ※注) 内線の設定は不可
 時刻 : 0000~2359(未使用時刻のデータ“_____”)
 SMTWTF S : *=テスト発信する, “_”=テスト発信しない

④受信応答 (指令装置より)

(4)	(2)
応答種別	SUM
A D X X	X X X C R
応答結果	
(1)	(1)

応答種別 : D T × × に対する応答

⑤転送完了通知 (ホストより)

(4)	(2)
完了種別	SUM
C M X X	X X X X X X C R
全 SUM	
(4)	(1)

完了種別 : R Q × × に対する完了
 全 SUM : R Q × × から D T × × までの各 SUM をバイナリ・データとして加算した結果の下位 2 バイトを 1 6 進数 4 桁で表わす。

⑥転送完了応答 (指令装置より)

(4)	(2)
応答種別	SUM
A C X X	X X X C R
応答結果	
(1)	(1)

応答種別 : C M × × に対する応答

⑦全転送完了通知 (ホストより)

(4)	(1)
完了種別	SUM
C M 9 9	X X C R
SUM	
(2)	

完了種別 : 全転送完了

⑧全転送完了応答 (指令装置より)

(4)	(2)
応答種別	SUM
A C 9 9	X X X C R
応答結果	
(1)	(1)

応答種別 : C M 9 9 に対する応答

■ 応答結果一覧

- 0 : 正常終了
- 1 : チェックサム・エラー
- 2 : 通信拒否状態
- 3 : 不当要求, 不当データ (未定義, 要求待ちでデータ, データ待ちで要求)
- 4 : データ数異常 (少ない, 多い)
- 5 : システム不一致 (機種固有番号が不一致)
- 6 : 要求/データ・フォーマット・エラー

※ 0 : 正常終了以外の場合, 指令装置は転送要求待ちとなる。

仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご承知おきください。